

Chart of the week: How print applications fared in 2020

今週のチャート 2020年の印刷アプリケーションの状況(ドイツ)

31.AUG.2021

Ralf Schölzer



Ralf Schlozer is Independent Print Analyst. Ralf provides analysis, sizing and forecasting the market for digital printing technologies and associated applications and business processes.

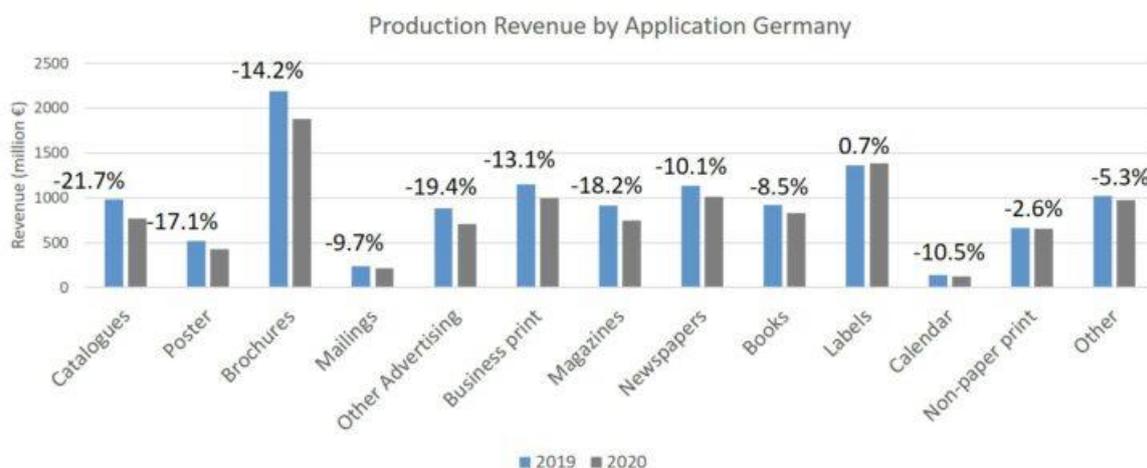
←

Ralf Schlozer は、独立した印刷アナリストです。Ralf は、デジタル印刷技術および関連するアプリケーションとビジネスプロセスの市場の分析、サイジング、予測を提供します。

<https://www.linkedin.com/in/ralf-schlozer-9834673/>

<https://www.digitalprintexpert.de/>

様々な憶測が飛び交っていた 2020 年の印刷アプリケーションの状況について、ようやく最初の(実際の)数字が発表されました。ドイツの印刷業界団体(BVDM)が、2020 年の印刷業界の統計を発表しました。綺麗な絵ではありませんが、概ね予想通りの結果です。



Source: BVDM „Die deutsche Druckindustrie“ 2021 & 2020

2020年と2019年のアプリケーション別売上高の比較 - ドイツ

印刷物全体の売上高は、11.5%減の108億ユーロ。これはほぼ予想の範囲内です。しかし、この分布にはいくつかの興味深い点があります。

かなりの期間ロックダウンされていたので、ポスターはもっと減少すると思っておりましたが、Covid-signage がいくつかの損失を補ってくれたようです。

カタログやメールは、店舗が閉鎖されている中で、より良い結果が得られるはずですが、多くの印刷会社や郵便事業者が早くから減少を報告していました。そのため、郵便物の 9.7%減はそれほど悪くないと感じます。

新聞は予想以上に好調で、印刷業界の平均を上回る結果となりました。

書籍の売上は低い - ドイツの多くの州で長期にわたり書店が閉鎖された第 2 次ロックダウンの影響があったようです。他のヨーロッパ諸国とは異なり、ドイツの書籍出版社協会はすでに 2020 年の書籍売上の減少を報告しています。それでも 8.5%の減少は高いと思われます。

ラベルは唯一成長したセグメントでした(わずかではありますが)。したがって、パッケージは 2020 年も好調なはずですが。

その他の印刷(多くの場合、紙以外の印刷)は、ここ数年同様、比較的好調でした。これは、あらゆる種類の特殊印刷やニッチ印刷において、収益が「古典的な」印刷アプリケーションから離れていくという継続的な傾向です。

これが、2020 年のドイツにおける印刷アプリケーションの結果です。他の国の結果にも興味があります。全体的な傾向は似ていても、きっと国によって顕著な違いがあるでしょう。

今回の記事は、印刷業界やコミュニケーションのトレンドに基づいた短い記事のシリーズの始まりです。続きは www.digitalprintexpert.eu でご覧ください。